

「知らない人について行っては

いけないよ」

ケンちゃんは、4歳になる人懐っこい元気な子です。スーパーに買い物に行くと、だれかれとなく自分から話し掛けます。当初は積極的でいいなと思っていたお母さんですが、近頃ではあまりに人見知りをしないので不安になってきました。知らない人は、危害を加えることがあるかもしれないと教えなければならぬのは悲しいことですが、行動範囲が広がってきたケンちゃんに、お母さんは、「知らない人について行ってはいけないよ」と言い聞かせています。

しかし、4歳児を対象にした研究では、そのように教えられていても、ついて行ってしまふことが明らかにされています。「知らない人について行ってはいけない」というその言

葉は理解できても、知らない人に出会った場面や、ついて行った結果どのようなことが起きるのか、その可能性を想像することができないからです。

また3歳〜4歳ぐらいでは、人が嘘をつくということが理解できません。相手の言うことが事実と違っていても、それを嘘とは思わず、単に間違えたと考えるようです。相手が嘘をついているかもしれないと判断できるのは9歳を過ぎてからのことです。

つまり、4歳のケンちゃんには、言葉から相手の「心」を理解することが難しいのです。例えば「もうお母さんと会えなくなってしまうかもしれないよ」「もしケンちゃんがいなくなったら、お母さんは悲しくて泣いちゃうよ」など具体的に伝えることが大切です。

情けは人のためならず



「情けは人のためならず」とは、人に親切にすれば、親切にされた人のためになるだけでなく、やがて巡り巡って自分に返ってくる。人には親切にしようという格言ですが、これを実証的に確かめた興味深い研究がこの夏報道されました。

保育園に通う5歳から6歳児の日常生活を観察した結果、親切な子どもは、周りの子から好ましく思われるだけではなく、親切にされやすいことを、大阪大学の研究チームが確認したのです。

この研究では、日常、他の子の服のボタンを留めてあげたり、物を貸したりするなど親切な行動をよくする園児と、その園児の周りでこれを見ていた園児のその後の行動を丹念に観察しました。

親切な園児が、ほかの園児に親切にした直後と普段の場面を比べると、親切にした直後では、それを見ていた周りの園児は、親切な園児を手伝ったり、話し掛けたり、親しみの意味を込めて体を触ったりするなど、好意的な行動を普段以上に多く見せました。

当たり前の結果だと思われるかもしれませんが、ここで肝心なのは、親切な子は、親切にしてあげた子だけから「お返し」として親切にされている訳ではないということです。親切な子は、周りにいてその行為を見ていた子から「親切な子」と見られだけでなく、好ましい働き掛けを多く受け取ることができたのです。

5歳・6歳児でも、人の行動を観察することによって、友達とうまくやっていく力を育んでいることがよく分かります。

親という「仕事」

先日、久しぶりに映画を観に行きました。

是枝裕和監督の「そして父になる」です。話題作ですのでご存じの方も多いでしょう。物語は、病院で子どもが取り違えられていたと生後6年経って知らされた2つの家族の親子をめくり展開します。

一方は休日出勤も厭わず子どもことは妻に任せきりのエリートサラリーマン、他方は小さな電気屋を営む子煩悩な父親という対照的な家族です。双方とも子どもを本来の親のもとに戻すべきか否かで、心が揺れています。そうした中で、印象的だったのは、子煩悩な父親が、サラリーマンの父親に、もう少し子どもと遊んでやったらどうかと意見する場面です。サラリーマンの父は「自分には、自分にしかできない仕事がある」と反論するので

すが、逆に子煩悩な父から「父親という仕事も今しかできない、自分にしかできない仕事ではないか」と反論されてしまいます。

映画では父親を中心に物語が進行しますが、父親に限らず親という仕事はわが子との間で、しかもその時しかできない「旬」がある仕事です。母親に比べ、父親と子どもの距離は微妙です。「出番はまだ先」「もう少し大きくなったら」と先延ばしするうちに、子どもは思春期を迎え、大切な絆が育たないまま、親から離れていくことすらあります。

子どもの成長に欠かせない「愛されている」という実感は、親と子がまなざしを合わせ、肌を触れ合う経験によって生まれます。この実感を与えること、これこそが親の仕事ではないのか、そんなことを再確認した映画でした。

ハイタッチの効果



この季節にしては暖かいある日「ヒロくん、お外で遊ぼうか？」と、お母さんが誘いました。ヒロくんの返事は「イヤ」です。「じゃ、お家で、ブロックで遊ぶ？」と聞いても「イヤ」という返事。このところヒロくんは何でも「イヤ」。さすがのお母さんもお手上げです。こんなとき、ちょっと試してみてください。

「お外で遊ぶ子、手挙げてー！」ヒロくんは、元気に「ハイー！」と手を挙げました。すかさずお母さんは、笑顔でハイタッチしながら「ヒロくんは元気だねー！じゃあ、お外に行こうか」

「こんな調子で。」歯磨きする子、手挙げてー！」

「パジャマに着替える子、手挙げてー！」と誘ってみてください。手を挙げる動作で弾みがついて、おまけに、お父さんやお母さんが「コツと笑顔で、挙げた手にハイタッチすると、案外やってくれることが多いようです。

もちろん、いつもこの手が効くわけではありません。でも、子どもの煮え切らない態度に手を焼いて「いったいどっちなの！」と声を荒げたり「もう知らない。勝手にしなさい」と投げ出したりする前に、ちょっと試してみてください。大人でも子どもでも「しなさい！」と命令されたり、一方的に指示されたりするのは嫌なものです。

「早く着替えなさい！」よりも「着替えようね」や「ヒロくんが片付けると、ママ助かるな」の方が受け入れやすいものです。語尾に「ね」をつけるだけでも、語調はぐんと和らぎます。

3 歳、4 歳ころの 心の世界

3 歳ぐらいになると、使える言葉がぐんと増えて、大人との会話が弾むようになります。でも、言葉が達者になる反面、時々トンチンカンな応答をするのもこの時期です。

発達心理学者の松井智子さんは、孫と祖母の電話を介した、こんなやりとりを紹介しています。

祖母が「ユーちゃん、今なにしているの?」と聞くと、ユーちゃんは「お絵かきしているの」と答えます。祖母が「何描いているの?」と尋ねると、ユーちゃんは、電話の受話器を絵に近づけて、「これだよ」と答えます。ユーちゃんが描いている絵は、電話の向こうにいる祖母には見えないのですが、この時期の子は、自分が見たり聞いたりしていることは、

他の人にも見えるはず聞こえるはずと知っているようです。

また、この時期になると「あれ」「これ」「それ」といった指示語をよく使うようになります。子どもが「あれ何?」と尋ねたとき、大人がわからないと、「あれだってば」と少しいら立った反応を見せることがあります。これも同じです。子どもがおもちゃのダンブカーのつもりで「それ取って」と言ったのに、大人がブロックを渡すと不機嫌になります。

これは、3 歳、4 歳ぐらいの子どもは、自分にわかることは他の人もわかるはずと思いこんでいるからです。

このあと、3 年から 4 年経つと他の人と自分の見え方感じ方が違うことに気付いていきます。子どもものの心の世界とその成長ぶりは面白いですね。

お母さんへの「褒美」

1歳を過ぎたマーちゃんには、童謡のメロディに合わせて体を動かしたり「結んで、開いて」をやってみせたりするなど、できることがずいぶん増えました。また歩けるようになって世界が広がったせいでしょうか、今は何でも興味津々で、じっとしていることがありません。狭い所や穴が大好きで、テレビのリモコン、スマートフォンなどがお気に入り。

大人のやること全てが興味の対象です。両親は日々の成長ぶりに目を細める反面、目が離せず、特に平日のお母さんは、気の休まる暇もなくヘトヘトです。

子どもが幼い時、親、ことに母親は自分のために時間を持つことが難しくなります。でも、「この子のせいで自分は何もできない」とか、「我慢すべきだ」と力んで子育てすること

は、子どもの成長にとって好ましいことではありません。子育てを頑張っているお母さんやお父さんに、時に「自分だけの時間」という褒美を自分にあげませんか。

酒田は、働きながら子育てをしているお母さんが多いまちです。子育て中のお母さんやお父さんが、笑顔で子どもに接することができるように、周りの人が「預かってあげるから、少しゆつくりしたら」と一声掛けてあげられるといいですね。

また日頃、家庭で子育てしていて、保育施設などを利用されていない方へは、一時預かりの利用を勧めてみるのもよいでしょう。お母さんやお父さんの元気は、子どもの元気につながります。



子育て相談機関(一覧)

子どもの発育、発達、しつけなど、子育てで不安なこと心配なこと悩みがあったら、相談してみましょう。

施設・機関名	電話番号	所在地等	開設日	相談内容
母子相談室	26-4199	市民健康センター	月～金・8:30～17:15	・育児、発育、発達、 予防接種
発達支援室	26-6258	酒田市役所福祉課内	月～金・8:30～17:15	・発達、個別療育指導
家庭児童相談室	24-0981	酒田市役所子育て支援課 内	月～金・8:30～17:15	・子どもと家族の心配ごと や不安なこと ・児童虐待の通報や相談
庄内児童相談所	0235- 22-0790	鶴岡市道形49-6	月～金・8:30～17:15 児童虐待の通報は 24時間受付	
児童センター (親子ふれあいサロン)	26-5613	酒田市交流ひろば内	休館日 12/29～1/3	・子育てのことなら、何 でも気軽に相談ください。 ・歩行、ことば ・育児、しつけ ・発育、発達 ・食事、離乳
酒田子育て支援センター	33-2444	松陵保育園併設	月～金・8:30～17:00 土・8:30～12:00	
八幡子育て支援センター	28-8032	八幡保育園併設	月～金・9:00～16:00	
松山子育て支援センター	61-4821	松山保育園併設	月～金・9:00～16:00	
平田子育て支援センター	61-7228	平田保育園併設	月～金・9:00～16:00	
西荒瀬子育て支援センター	34-2255	西荒瀬保育園併設	月～金・9:00～16:00	
NPO法人 にこっと	23-6330	酒田市二番町7-8	火～日・9:00～17:00	
子育てサポートセンター あらた 育ちの広場 そよ風	26-1154	酒田市東町1-15-25	月～金・8:30～17:30	・発達について気になると 思われる子どもとその 家族の相談、情報提供
児童家庭支援センター シオン	0235- 68-5477	鶴岡市下川窪畑1-288 七窪思恩園内	緊急時は24時間受付	・子ども、家庭、その他 地域、職場のこと ・臨床心理士及び他の 機関との連携 ・ショートステイ、トワイ ライトステイ ・緊急一時保護